



青き楓

島高だより
平成25年11月号
(通巻第92号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

「ことばの海」に遊ぶ



校長 北浦 剛資

島高生の「S」は「Science」のS。知的好奇心、とりわけ言葉への関心は大切だ。

■「辞書」というおもしろきもの

10年前から電子辞書を受用している。それまで分厚い『広辞苑』をその都度引っ張り出してめくっていたのが、コンパクトな掌の電子板で調べられるのは大変魅力的だった。実際使ってみるとすこぶる便利で、辞書を引く回数が飛躍的に増え、以来ずっと机の引き出しに忍ばせてある。例えば、「おざなり」と「なおざり」は似たような言葉だがどう違うのか気になるとすぐ調べたり、例えば、趣味の言葉遊び「折り句」で、島原の「し」で始まる言葉をスクロールする中で探したり、例えば、「～ほろろ」が付く言葉だったけど思い出せない時は逆引き広辞苑を使って辿ったりなど、とにかくさまざまな要求に応えてくれる。ただ酷使したため、本体とディスプレイをつなぐ蝶つがい部分にひびが入り割れたので、セロテープで応急処置をして使い続けている。

■自分の言葉に責任を持つ

『言海』(大幅改訂後は『大言海』)は、明治の半ば国語学者の大槻文彦が編纂した日本初の近代的国語辞典とされる。辞典作りは、日本語という国語を統一することであり、我が国を近代国家として認めさせる手段の一つでもあったので、文部省の上司に命じられて編纂を始めた。収録されているのは3万9千語余り、5年前に発行された『広辞苑』第六版の24万余語とは比べものにならないが、混沌とした言葉の海から材料を集め、整理して意味づけしていく作業は、気の遠くなるような難業で、実際刊行までには10数年の歳月を要している。そんな産みの苦しみがあって初めて私たちは手軽に国語辞典を手にする訳だ。辞典には大いに親しんでもらいたい。口をついて出た言葉は一人歩きをし、思いがけない結果を生むことがある。品格ある人間として、一字一句もゆるがせにしない、自分の言動に責任が持てる、そんな領域を目指してもらいたい。

12月 行事予定

1日(日)	全統センタープレ(3年)	16日(月)	三者面談(1・2年 ~27日)
2日(月)	期末考査 (1年 11月29日~12月6日)	21日(土)	土曜講座(3年) 県一斉実力考査(1・2年)
3日(火)	三者面談(3年 ~11日)	22日(日)	バスケットボール女子島原大会 (本校会場 ~23日)
7日(土)	修学旅行結団式(2年)	24日(火)	終了式・大掃除
9日(月)	修学旅行(2年 ~7日)	25日(水)	授業設定日(~26日)
10日(火)	土曜講座(1・3年)	27日(金)	冬季補習(全学年 ~28日)
14日(土)	19時完全下校徹底週間(~13日)	29日(日)	センタープレテスト (3年 ~30日)
	歳末助け合い募金(校内 ~14日)	31日(火)	閉館
	歳末助け合い募金(街頭 ~10日)		
	地学セミナー(理数科1年)		
	土曜講座・小論文模試(1年)		



人権集会



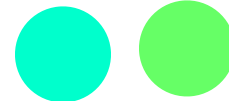
11月6日(水) LHRの時間に全校生徒が体育館に集い、人権について学びました。インターネット社会において発生している人権侵害の実例を取材したDVDを鑑賞し、事件の背景や特性について理解を深め、情報化社会の中で人権と向き合うために私たちがどうすべきかを考えました。

【生徒感想より】

○「自分自身が不安だから他の誰かを攻撃してしまう(人間は誰かを差別し卑下する代わりに、優越感を得て自分の精神状態を保っている)」という説明が印象に残った。このストレス社会で明るく毎日を過ごしていくには…考えつづけたい。〈1年生女子〉

○憲法にある「(表現の自由などの)人権」と、各個人の「人権意識」のズレが問題だ。インターネットの情報を24時間365日監視することは難しいので、自分の身は自分で守るとともに、悲しむ人の立場を考える力を養うべきだ。〈2年生男子〉

○「一度ネット上に情報が流れたら消すことはほぼ不可能」こんな社会に生まれてしまったことが怖い。冷静な視点を持てば、誹謗中傷を書き込んでいる本人が一番「卑怯で醜い」と気づくはず。同じ事を人前と言えるのかと問いたい。〈3年生女子〉



「高校生さわやか運動」



本校では今年も11月に登校時の挨拶運動を行いました。

11月11日からの朝7時15分から7時30分まで校門に立ち、本校生徒や通学中の小・中学生、地域の方に挨拶を行いました。高校生さわやか運動に関しては、7月にもゴミの分別強調運動を実施しました。さわやか運動をきっかけに、挨拶や美化への意識をいっそう高め、地域の方々から愛される島高生になってほしいと思います。



読書会



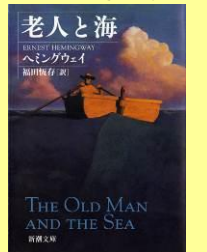
10月27日から11月9日は読書週間でした。島原高校では、この期間に「読書会」を行っています。

今年は11月7日(木)の放課後、第3回「読書会」が行われました。希望者が図書館に集まり、今回は

ノーベル賞を受賞したヘミングウェイの著書である『老人と海』を読み、印象に残っている場面や老人が闘い続けた理由について感じたことを発表し合いました。

参加した生徒は「感じたことを言葉にすることは難しいけれど、みんなの感じたことを聞いて、新しい発見もあり勉強になった。」「本が好きだけど、読むだけで終わっていた。感じたことを自分の教訓にしていきたい。」と感想を述べていました。

みなさんもぜひこの機会に本を読んでみましょう。



島高青楓塾「青き楓たちへのメッセージを再び」

11月15日(金)に大先輩であられる寺田隆士先生に講演をしていただきました。講演後に先生からのアドバイスが欲しくて質問する生徒が多く、先生のお言葉は心に響くものばかりでした。

講師 寺田 隆士 先生
島原高校第18回生(昭和41年3月卒)
元長崎県立島原高等学校長
前長崎県教育長 現諫早市立諫早図書館長



講演概要

●私の高校時代

- 我が誇り、校舎と校歌(校舎と校歌は心の拠り所)
- 修行としての勉強(自分は恵まれていることに気付く。勉強は自分を磨くための修行と考える。)
- 三人のライバル、師と仰いだ親友(勉強や人格などで目標となる友人を見つけること)
- 教師を目指した理由(自分は偉大にはなれないかもしれないが、素晴らしい人物を育てることはできる。「一人の西郷になるより、十人の西郷をつくる」)

●人間として生きる

- 人間の偉大さは科学技術を発達させ生活を豊かにした「考える力」と真・善・美を尊ぶ「高貴な心」
- 人間は支え合い生きてきた
- 人の笑顔を見て喜び習性のある私たち人類には、他の人の幸福の役に立つことを自らの幸福とする遺伝子を持っているはずである。

●人間としての生きる力、「10の力」

1 学力

「学ぶ」ということは人間が作り上げてきた文明・文化を受け継ぐ営み。
学ぶことで「なりたい自分が広がる。なれる自分が広がる」

2 読書力

自ら学ぶ力は読書力に比例する。読書のレベルを高める、背伸びする読書に挑戦を。

3 対話力

異なる考えの長所を組み合わせ、より高い次元の考えを導き、討論よりも対話を。

4 体力

生きる力の基盤。高校時代までに培った体力が一生を支える。

5 気力

「勇気」「忍耐」が大切。最善を尽くし「時が解決してくれる」まで待つことも力。

6 行動力

ビジョンを描き、実現のための段取りを考え実行。

7 統率力

リーダーとは人の上に立つ人ではなく、進むべき道を自ら定めつつ先頭を歩く人のこと。

8 協調力

人それぞれの長所を見抜く力を養うこと。21世紀は「共生の時代」。

9 情緒力

美しいものに心を動かし、美しいものを求める心。

10 努力する心

努力の成果は簡単にはあらわれない。ある時、突然あらわれる。あきらめず努力を続けること。

青
楓

ッ

ー

再



主な部活動成績

弓道部

平成25年度 第21回九州高等学校弓道新人選手権大会 男子個人 **優勝** 伊福和己
第31回全国高等学校弓道選抜大会長崎県予選大会 女子団体 **第2位**

剣道部

平成25年度長崎県高等学校新人体育大会 剣道競技 男子団体 **優勝** 女子団体 **優勝**
男子個人 **優勝** 牧島 凜太郎
第3位 黒川 大樹
女子個人 **優勝** 進藤 暖佳
準優勝 藤崎 薫子
第3位 本多 愛



レスリング部

平成25年度長崎県高等学校新人体育大会
レスリング競技 団体戦の部 **優勝**
50kg級 **優勝** 岡田 幹大 **第3位** 元田 雄大
55kg級 **第3位** 佐藤 輝翔
60kg級 **準優勝** 喜多 豊和 **第3位** 寺田 貴考
66kg級 **準優勝** 石橋 智啓
74kg級 **優勝** 上田 一志 **準優勝** 本多 隆治
84kg級 **優勝** 濱本 大徳 **準優勝** 峯 正隆



体操部

平成24年度長崎県高等学校新人体育大会 体操競技 女子団体 **第2位** 男子団体 **第3位**

合唱部

平成25年度 全九州高等学校音楽コンクール 声楽部門 **銀賞** 本多 愛美

文芸部

平成25年度長崎県高等学校総合文化祭 演劇部門県大会 **優良賞**

放送部

第25回九州高校放送コンテスト県央地区大会
朗読部門 **優秀賞** 林田 聖花 酒井 彩希 **優良賞** 佐藤 優翔
アナウンス部門 **優良賞** 松崎 有希子

語学部

長崎県高校英語ディベート大会 **準優勝** 佐藤仁美 前田小夏 佐藤麗 **九州大会出場決定!**

平成25年度「税に関する高校生の作文」表彰

島原税務弘報協議会会長賞 1年6組 吉永 龍朗
長崎県税務教育推進協議会代表幹事賞 1年2組 山村 明日香

運動部も
文化部も
輝かしい
成績!

島原高校は部活動生を応援します!
11月19日~21日の三日間、「青楓寮」にて「部活動生支援学習会」を行いました。部活も学習も頑張れる環境を目指しています。生徒たちも夜遅くまで先生に質問をしていました。頑張れ、島高生!!

